



東北防衛局広報紙
(東北6県の防衛に関する情報誌)

東北の **かなめ**

(第5号)

平成20年10月28日発行



(八甲田山系の紅葉：青森県)

特集・青森県に所在する主要な米軍施設の紹介

2～3

特集・東北方面フラッグ隊の活躍

4～5

- ・新東北防衛局長から
- ・アメリカ広場（三沢市）：民生安定助成事業
- ・「東北の寄り道」（八郎潟～寒風山から望む～）
- ・調達部ってこんなところ！「建築課」
- ・インフォメーション（防衛問題セミナー開催）

6

6

7

7

8



防衛省東北防衛局編集委員会編集発行

宮城県仙台市宮城野区五輪1丁目3-15

TEL 022-297-8208

ホームページ <http://www.mod.go.jp/rdb/tohoku/>

主要な米軍施設の紹介

三沢飛行場



三沢飛行場は、全長約3000mの滑走路が東西に延び、米空軍第35戦闘航空団(F-16)、米海軍三沢基地航空隊(P-3C)、航空自衛隊第3航空団(F-2、F-4)、航空自衛隊三沢ヘリコプター空輸隊(CH-47)の米軍及び自衛隊の部隊が使用しています。現在、戦闘機については、米空軍及び航空自衛隊を合

わせて約110機、我が国の基地の中で最も多くの戦闘機が配備されています。

地域との関わりを第一としている三沢飛行場の米軍は、市民との友好関係を深めるため、例年、三沢市等と共催による「アメリカンデー」、「ハロウィンフェスタ」等の各種交流イベントや航空自衛隊の共催による航空祭を開催しています。

東北防衛局においては、三沢飛行場周辺地域の調和を図るために種々の周辺対策を行っています。三沢市が民生安定施設として整備した「三沢市大空ひろば」は、市民をはじめ航空機ファンの集う場所となっています。



F-16とF-2



三沢市大空ひろば
(三沢市教育委員会提供)



ハロウィンフェスタの様子
(三沢市観光協会提供)



三沢基地航空祭

「三沢市大空ひろば」について

昭和6年に三沢市の海岸を飛び立った「ミスビートル号」が世界初の太平洋無着陸横断飛行の偉業を達成しました。

このように三沢飛行場が所在する三沢市は、航空機との関わりも深いことから、民生安定施設として「青森県立三沢航空科学館」(青森県)と「三沢市大空ひろば」(三沢市)の整備を行い、市民の憩いの場として平成14年度に完成したものです。



(ミスビートル号)

若手職員からの業務紹介

三沢防衛事務所 宇良正伍

今年度に採用となりました宇良正伍です。

私は沖縄県出身です。20年間住んでいた故郷を離れ、現在、青森県の三沢防衛事務所で勤務しています。初めて県外に出て気候も風土も全く違う環境で暮らすことにいろいろと不安もありましたが、事務所の皆様の厳しくも優しい御指導や励ましの下、とても楽しく過ごしています。

当事務所は、青森県を管轄区域として、所長以下20名の職員が勤務してい

特集

青森県に所在する

青森県には、我が国の防衛にとって重要な米軍施設が所在しています。今回は、そのうち主要な米軍施設である三沢飛行場や車力通信所などを紹介します。

車力通信所等



(Xバンド・レーダー)

に行っています。

なお、ミサイル防衛に関連する施設として、平成22年度に、青森県の航空自衛隊第42警戒群(大湊分屯基地)の現レーダーを弾道ミサイル防衛(BMD)に対応した警戒管制レーダー(FPS-5)に交換する予定です。

車力通信所は、平成18年6月、ミサイル防衛の米軍の新たなXバンド・レーダーの日本における展開地として、航空自衛隊車力分屯基地の一角に設置されました。

運用開始以降、同通信所では、地元住民と良好な関係が保てるよう、通信所隊長を先頭に地域住民との交流を積極的



英会話教室の様子 (つがる市提供)



(竹内所長)

三沢防衛事務所長から

三沢防衛事務所管内に所在する米軍施設のなかで、三沢飛行場では、米海軍第1哨戒偵察航空団司令部の移転(平成15年9月)、米軍再編に係る訓練移転(平成19年7月以降)、JTAGS(統合戦術地上ステーション)の配備(平成19年10月)等があり、また、つがる市に新設された車力通信所においては、Xバンド・レーダーが本格運用開始(平成18年9月)するなど、青森県が従来にも増して重要な地域となっています。

昨年9月に三沢防衛施設事務所は「三沢防衛事務所」に組織改編され、これまで果たしてきた役割を継承しつつ、防衛行政全般に関する東北防衛局の最前線としての役割を担うこととなりました。

当事務所はこれまで以上に、地方公共団体や地域住民の皆様のご意見をしっかりと受け止め、これまで培ってきた皆様との関係を維持・発展させ、良好な関係が継続して保てるよう情報の提供等に努めてまいります。

地元を出て半年が経ちますが、まだまだ分からないことだらけです。一日でも早く防衛事務所の仕事に慣れ、地域住民の皆さんのお役に立てるよう頑張ります。

休日には気分転換に、音楽を聴いたり、ランニング等で体を鍛えています。特に今は、沖縄から持ってきた三線の練習に力を入れています。未だあまり上手に弾けません。いつか人前で歌いながら弾けるようになったらと思っています。

て、境界線や杭などの調査を行ったり、直接住民にお話を伺ったりなど、大変な仕事が多いのですが、その分やり甲斐もあります。一つの仕事を終える度に自分の糧になることを実感し、日々頑張っています。



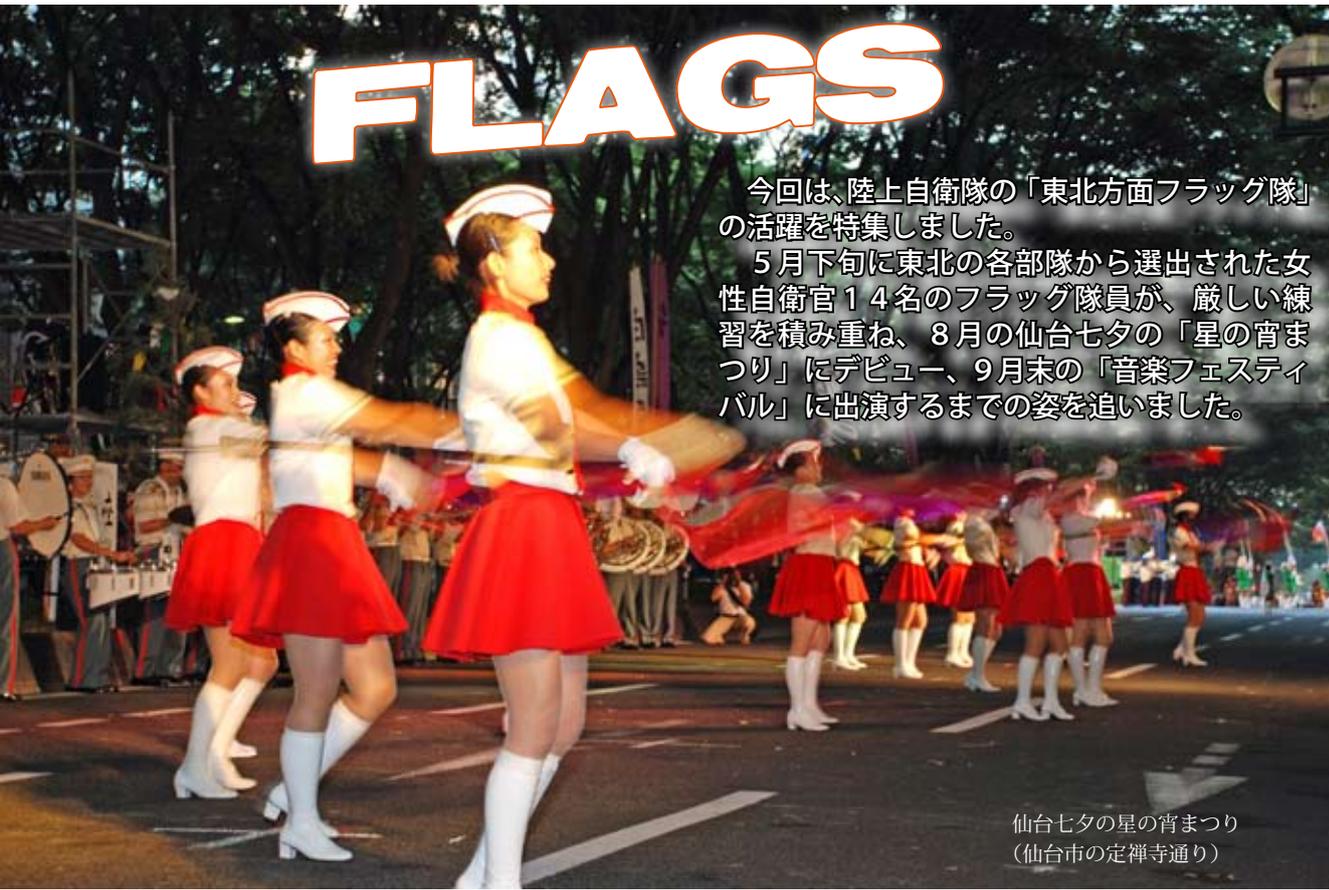
ます。私が配属されている施設課施設第2係は、主に、米軍や自衛隊が使用する施設等の管理や取得等に関する業務を行っています。実際に現場に行っ

特集 .. 東北方面フラッグ隊の活躍

FLAGS

今回は、陸上自衛隊の「東北方面フラッグ隊」の活躍を特集しました。

5月下旬に東北の各部隊から選出された女性自衛官14名のフラッグ隊員が、厳しい練習を積み重ね、8月の仙台七夕の「星の宵まつり」にデビュー、9月末の「音楽フェスティバル」に出演するまでの姿を追いました。



仙台七夕の星の宵まつり
(仙台市の定禅寺通り)

5月下旬

フラッグ隊の編成式。ユニフォームに着替え華麗な演技を披露するため厳しい練習が始まった。



6月から

音楽隊長の指揮の下、屋外での厳しい練習は続く。



8月初め

仙台七夕・星の宵まつり前日、最終練習。(仙台駐屯地)



東北方面フラッグ隊について

東北方面フラッグ隊は、昭和63年4月に発足しました。当初、仙台駐屯地に所在する部隊から女性自衛官を選抜していましたが、その後、東北方面隊の各部隊から要員を選抜して、フラッグ隊を編成しています。

21回目の今年度も東北方面隊の各部隊から選抜された14名の女性自衛官により新たなフラッグ隊を編成。厳しい練習を重ねつつ、各種広報行事に活躍しています。





第9後方支援連隊
堀越士長

全員が同じ気持ちになり、旗の動きが揃った時の感動はたまらないです。また、お客様の拍手の中での退場は寂しいですが、また、やりたい気持ちになります。

最初は全然合わなくて心配しましたが、最後にはフラッグ隊になり良かったです。自分を成長させ、すごくやりがいがあります。



第4地对艦ミサイル連隊
大泉1士

いろんな面で成長できたと思います。メンバーとたくさん話ができ、貴重な時間を過ごせました。毎日が楽しかったです。



東北方面後方支援隊
石垣1士

今まであまり人前に出る機会が少なかったのですが、フラッグ隊に参加して多くの人前で演技ができて、とても良い経験になりました。



第6通信大隊
川越士長

辛い練習も皆と一緒に毎日楽しく感じられました。フラッグ隊はたくさんのすばらしい人に出会い、自分自身も成長ができ、すばらしいところです。



第2施設団
竹谷1士

できなかったことができるようになった時や皆で一つの演技ができた時は、本当に嬉しかったです。いろいろな面で成長し、部隊に帰れると思います。



第9特科連隊
大坊士長

※フラッグ隊を代表して6名の隊員からのコメント



仙台七タ・星の宵まつりにフラッグ隊がデビュー。今年には天候にも恵まれ例年より多くの観客が訪れる中、約二ヶ月間の練習の成果、統制された美しさは、見る人に感動を与えていました。

8月6日(水)～8日(金)

仙台七タ・星の宵まつり



仙台サンプラザホールで行われた東北方面隊創隊記念行事「音楽フェスティバル」に見事なフラッグさばきを披露。観衆を大いに沸かせました。

9月27日(土)

音楽フェスティバル

11月には、東京の日本武道館で実施される「自衛隊音楽まつり」に出演予定。今後の彼女達の活躍に期待しています。



東北の自衛隊の広報行事

自衛隊(東北管内)が今後予定している広報行事等は次のとおりです。是非、見に来てください。

開催日	イベント名	開催場所	問い合わせ先
平成20年11月1日(土)	自衛隊記念日関連行事(市中パレード)	青森駅前周辺	第9師団司令部広報室 017-781-0161 (内線:259)
平成20年11月8日(土)	第6師団定期演奏会	山形県県民会館	第6師団司令部広報室 0237-48-1151 (内線:255)
平成20年12月6日(土)	第31回福島自衛隊音楽の夕べ	福島県文化センター	福島駐屯地広報室 024-593-1212 (内線:204)
平成20年12月14日(日)	第9師団ファミリーコンサート	秋田県民会館	秋田駐屯地広報室 018-845-0125 (内線:208)

※事前の申し込み、入場整理券等が必要なイベントもありますので、お出かけの前に問い合わせ先にご確認ください。

新東北防衛局長から

平成20年8月1日付けで着任した大澤新東北防衛局長に今後の抱負等を述べていただきました。

東北防衛局長

大澤 和久



まだ暑い最中の8月1日付で東北防衛局長として着任を致しましたが、涼しさが増してきている今日に至っても、未だ管内の自治体や部隊の中にはご挨拶に伺っていない所も多く、失礼をいたしております。

これまでご挨拶に伺った先では、その相手方が自治体などであれば隊であれ、『東北防衛局は今までより、ちよつとは良くなったなあ』と言ってもらえるようにしたい。良きクレーマーとして、苦言や忌憚のない意見をおっしゃって下さい。』とお話をしてきました。

東北防衛局の仕事は、地域の方々のご理解とご協力なくしては成り立ちません。私たちが独りよがりにならないように、みなさんのご意見をよく伺い、その立場に立つて物事を考えるよう努めて参りたいと考えています。

大澤局長の略歴

平成18年8月 防衛施設庁業務部労務調査官
平成19年4月 東京防衛施設局次長
平成19年9月 北関東防衛局次長
平成20年8月 現職



アメリカ広場 (三沢市)

民生安定施設への助成

平成20年7月、青森県三沢市が三沢飛行場の正門前の敷地(約1,700㎡)に整備を進めていた「アメリカ広場」が完成しました。

このアメリカ広場は、三沢市が平成16年度から、民生安定施設として、米軍と自衛隊が共同使用する三沢飛行場周辺において、防衛施設の設定又は運用により周辺住民の皆さんに及ぼす影響の緩和を目的に整備していたものです。



アメリカをイメージしたカラフルなインターロッキングブロック舗装、融雪設備を備えるなど、年間を通して周辺住民の皆さんの憩いの場として、また、地域交流の場として利用されます。

民生安定助成事業について

防衛省では、飛行場、演習場などがあることよって周辺住民の皆さんのくらしに影響を及ぼす場合には、市町村などが行う公園、道路、体育館、公民館、ごみ・し尿処理施設等の生活環境施設や農業用施設、漁業用施設等の事業経営の安定に寄与する施設の整備に対して助成を行っています。

東北の寄り道

八郎瀧 ～寒風山から望む～



秋田県男鹿半島、「男鹿なまはげライン」の脇本駅を降り、タクシーに乗って寒風山に向かった。

標高355メートルの頂上、360度のパノラマが広がる。前日までの雨が上がり、8月下旬の強い日差しに照らされ水蒸気が上がる。その薄いフィルターを通して、八郎瀧の雄大でのどかな田園風景や日本海に面する海岸線、漁港など日本の原風景を思わせるその景色がより幻想的に映し出されていた。

そして、遙か日本海を南へ望むその先に雲の上に突き出た山が見えた。標高2,236メートル、東北地方で二番目に高い「鳥海山」の頂である。



(鳥海山の頂を遠望)

江戸時代後期に東北地方や北海道を巡り歩いた紀行家、「菅江真澄」という人物がいた。

「真澄ほど秋田を歩き、秋田を誌し、秋田を愛した人物はいない」と言われる程、菅江真澄は秋田の村々を巡り、終生の地とした。特に男鹿半島には三度訪れ、男鹿の人々の生活習慣、伝説などを「男鹿の秋風・男鹿の春風・男鹿の涼風・男鹿の島風・男鹿の寒風」という男鹿五風と呼ばれる日記や図絵集として残している。

その中の「男鹿の寒風」では、文化8年(1811年)1月15日に男鹿半島において、「なまはげ」の詳細な詞書と図絵を記している。当時、小正月の晩に集落の各家庭を巡り、悪事に訓戒を与え、厄災を祓い、祝福を与える来訪神として「怠け者はいねが。泣く子はいねが」と練り歩く民俗行事であったことが伺われる。今日、大晦日行事として時期は違っているが、当時と変わることなく地域の人々の民俗行事として伝承されている。



(なまはげ)

写真：男鹿市観光商工課提供

調達部ってこんなところ！

建築課とは

— 建築課長から —



(佐藤建築課長)

建築課は、自衛隊施設及び米軍施設の建設工事のうち、主に建物の建築に関する設計・積算及び工事監督等の実務を担当しています。

限られた予算の中で満足の得られる施設を建設することを念頭に、建築課長以下14名の人員で業務を行っています。

私達が携わる防衛施設には、庁舎、航空機格納庫、車両整備場、食堂、体育館、浴場、公務員宿舎など多種多様な建物、特殊な施設等があり、設計の段階や監督業務の中でそれぞれ苦労もありますが、完成という大きな喜びに向け、職員一丸となってこれらの業務に取り組んでいます。

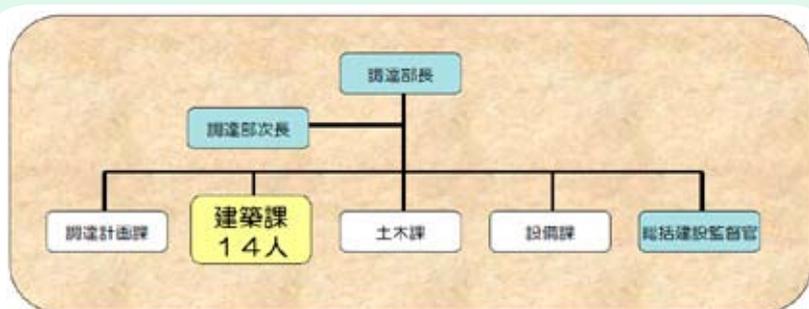
航空機格納庫 (大湊) : 工事中



(佐久眞建設監督官)

本年4月、沖縄防衛局から異動してきました。寒冷地での勤務は初めてなので、積雪や凍結が建物に与える影響等をいろいろと考慮しながら、建物等の設計・監督業務に当たっています。

また、土日等の休みの日を利用して、妻や子供と一緒に東北各地を回り、東北の気候を肌で感じる日々を過ごしたいと思います。



- INFORMATION -

防衛問題セミナー開催

— 国際テロを根絶するために —

防衛問題セミナー
(東北防衛局主催)

テーマ：
国際テロを根絶するために

インド洋と日本は、つながっている

あなたの意見をお聞かせください!

どうして日本はインド洋での補給支援活動をしているのですか?

自衛隊による補給支援活動の目的と役割について、実際に企画し、活動した講師から分かりやすく説明します

講師：河村延樹 (東北防衛局総務部長) ほか
「テロとの闘い」のための補給支援活動による日本の役割と目的について

講話：久野敬市 (自衛隊千葉地方協力本部長 1等海佐)
インド洋での補給支援活動の体験談について

2008年
11月6日 (木)
18時～20時過ぎ

会場 いわて県民情報交流センター (アイーナ)
(盛岡市盛岡駅西通1-7-1)
※有料駐車場有り

問い合わせ先：防衛省東北防衛局企画部地方調整課
宮城県仙台市宮城野区五輪1-3-15 TEL 022-297-8212
※当日は、申込なしで会場に直接お越しください。多数のご参加をお待ちしております。
※定員350名。

「インド洋での補給支援活動」について
考えてみませんか!

東北防衛局では、インド洋での海上自衛隊による補給支援活動について説明しています。

10月7日(火)の八戸市に続き10月28日(火)に石巻市で開催。今後、11月6日(木)に盛岡市での開催を計画しています。

講師等は東北防衛局総務部長、外務省の担当者及び補給支援活動経験者(海上自衛官)です。多くの方のご来場をお待ちしています。

補給支援活動による
日本の役割等を説明 (八戸市)

体験談を語る海上自衛官 (八戸市)

詳しい開催内容については、地方調整課 (TEL 022-297-8212) にお尋ねください。
また、上記のポスター及び講演概要(開催終了分)を東北防衛局ホームページに掲載していますので、ご覧ください。
東北防衛局ホームページ <http://www.mod.go.jp/rdb/tohoku/>

トピックス

— つがる市の地元特産展 (防衛省) —

つがる市特産「メロン試食販売会」の開催

7月28日、29日の二日間、防衛省厚生センター(市ヶ谷)において、福島つがる市長自らのトップセールスによる「つがる市特産・メロン試食販売会」が開催され、「ミスつがる」によるメロンの試食提供やメロンとスイカのPR活動と販売会が行われました。

つがる市によりますと、当初、二日間で120個販売予定のタカミメロンが、初日だけで二日分全てを完売し、急遽、二日目は都内販売分の100個を取り寄せた程、今回のPR即売は試食、販売とも大好評だったとのこと。同市の担当者は、「つがる市において農産物の生産販売に携わる者にとって大きな自信と手応えにつながった。」と述べています。



(つがる市長と「ミスつがる」によるメロン試食即売会)